

SUWA SHINKIN BANK REPORT 2024



【諏訪湖周サイクリング・ジョギングロード開通】

下諏訪町 みずべ公園付近

皆さまには、平素から諏訪信用金庫に対しまして、格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ここに当金庫の現況につきまして、より深くご理解いただくために、経営方針ならびに2023年度の業務・活動報告をまとめました「諏訪信用金庫ディスクロージャー2024」を作成いたしました。ご覧いただければ幸いに存じます。

2023年度の諏訪地方は、新型コロナウイルスの感染症上の位置づけが「5類」に移行したことが大きな転機となり、人の流れが活発化し経済活動が回復に向かいました。半面、急速な回復への動きで原材料やエネルギー価格上昇に伴う物価高騰が多くの分野の重荷となり、人手不足も顕著になりました。物価高騰は、地域住民の生活にも大きな影響をおよぼしています。新型コロナの影響が薄れる一方で、コロナ禍で変化したシステムや価値観は今後、さらに動きが進むと見られ、否応なく対応が求められます。

この節目の時期にあつて、諏訪信用金庫は2024年度から2026年度までの中期経営計画、すわしん『サステナブル・ビジョン2026』を策定しました。ビジョンは“あなたの一番身近な相談相手”「そうだ、しんきんに聞いてみよう！」です。メインテーマは、お客さま目線の「お客さま満足度（CS）の向上」、諏訪地域目線の「地域貢献」、職員目線の「人的資本経営（職員の幸せ、ウェルビーイング）」、金庫目線の「生産性の向上」です。

計画の中で、金庫経営には、人的資本の考え方を取り入れています。従来、コストとされていた「人材」を企業の資本として、価値を最大限に引き出すことで、生産性や企業価値向上へつなげる経営手法です。職員の幸せが、地域を支える原動力になることを目指します。また、ポストコロナに向かう地域企業の皆さまには、国の「早期経営改善計画支援」などあらゆる施策を活用し、営業店と本部が一体となって迅速な経営改善を後押しします。一方、近年は、国際的にマネー・ローンダリングへの対応が重要視されています。複雑化・高度化するマネー・ローンダリングやテロ資金供与の手口に対応し、皆さまの資産を守るためにお客さまの情報等の定期的な確認が必要になりますので、ご理解、ご協力のほどをお願いいたします。



諏訪信用金庫 会長 今井 誠
諏訪信用金庫 理事長 田中 輝明

昨年は岡谷市の旧市役所庁舎でロケが行われた映画「ゴジラ-1.0」が、アメリカ映画界で最高の栄誉とされる第96回アカデミー賞で、アジア映画初の視覚効果賞を受賞しました。また、宇宙飛行士の発言をきっかけに地域のうなぎ料理店が開発した「スペースうなぎ」が国際宇宙ステーションへ行きました。さらに、諏訪市の光学機器メーカー製造のレンズが日本初の月面着陸に貢献するなど、世界に誇る諏訪地方の話題がありました。

こうした可能性あふれる諏訪地方に住み、働く皆さまにとって身近な存在であり、いろいろな相談をいただける信用金庫を目指して、各種施策を展開してまいります。

地域の皆さまの変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

諏訪信用金庫 理事長 田中 輝明

経営理念

諏訪信用金庫は、みなさまと共に、豊かな地域社会の実現をめざします。

経営方針

- 1 質の高い金融サービスの提供
- 2 法令遵守と健全経営の徹底
- 3 職員の資質向上
- 4 働きがいのある明るい職場づくり

当金庫の概要 (2024年3月31日現在)

名称	諏訪信用金庫
本店所在地	〒394-8611 長野県岡谷市郷田2-1-8
電話番号	0266-23-4567
創立	1937 (昭和12) 年3月6日
店舗数	21店舗
ATMコーナー数	24ヶ所
常勤従業員数	266人
会員数	21,792人
出資金	8億72百万円
預金積金残高	4,209億40百万円
貸出金残高	1,894億 1百万円
自己資本比率	23.42%

諏訪信用金庫は、お客さまをはじめとする地域のすべての人の成長と幸せのために行動し、協同組織の地域金融機関として地域が抱える課題解決に貢献し、持続可能な地域社会を創るべく役職員一丸となって取組んでまいります。

計画名称

すわしん『サステナブル・ビジョン2026』

中期経営計画ビジョン

あなたの一番身近な相談相手

「そうだ、しんきんに聞いてみよう！」

皆さまからいろんなご相談をいただける信用金庫を目指します



活動スローガン

未来へ向かって プラス1

お客さま満足度の向上へ プラス1

地域の発展に プラス1

職員の幸せに プラス1

生産性の向上へ プラス1

中期経営計画のメインテーマ

1. お客さま満足度（CS）の向上【お客さまの目線】

お客さまから選ばれる金融機関となるために「職員の接客、提案・相談対応能力」「商品・サービス、店舗」の充実を図ります。

2. 地域貢献【諏訪地域の目線】

持続可能で豊かな地域社会実現のために「諏訪地方のハブ（中心、中核）」になるべく活動します。

3. 人的資本経営（職員の幸せ、ウェルビーイング）【職員の目線】

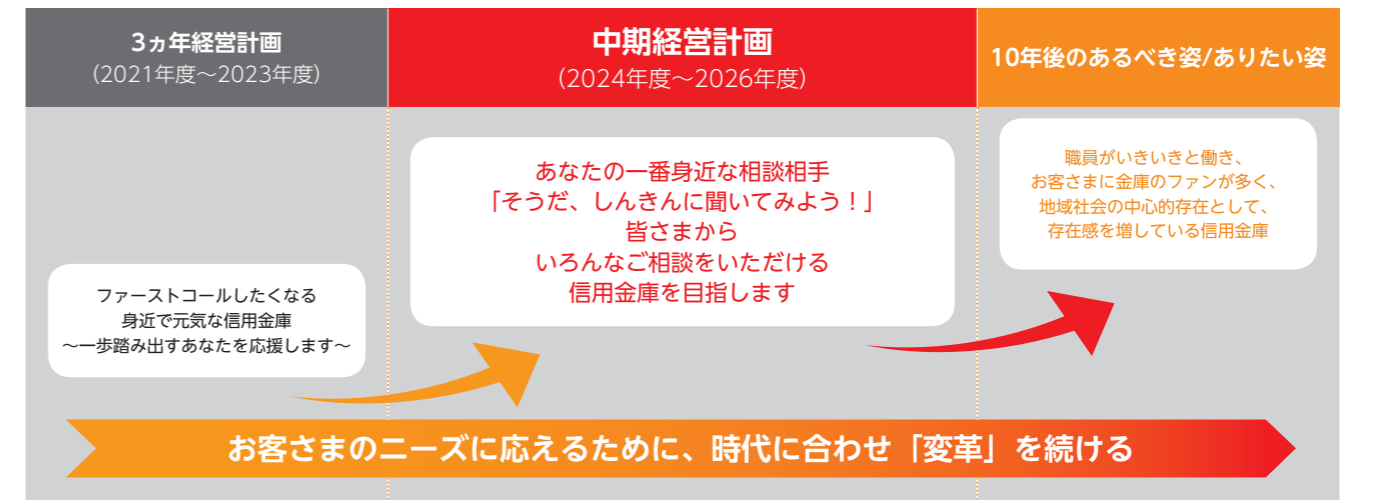
職員が能力を発揮し、働きがいを感じる組織文化・風土を醸成し、仕事への熱意、金庫への愛着心の向上を通じて成長を目指します。

4. 生産性の向上【金庫の目線】

「ワークライフバランスの向上」や「働き方改革の一層の推進」と、経営基盤の強化を両立させるべく生産性の向上を目指します。

諏訪信用金庫が目指すもの

「10年後のあるべき姿/ありたい姿」からのバックキャストと、「今後10年間にどのようなことが起こり得るか」を考えるフォアキャストを行い中期経営計画を策定しました。



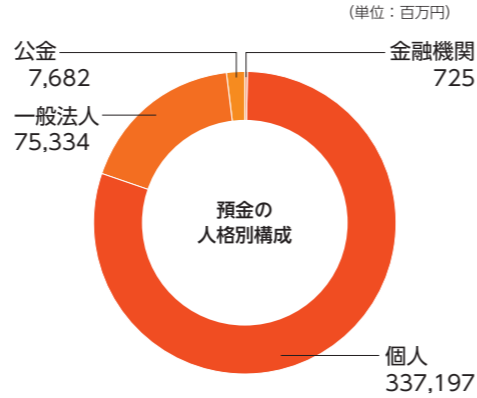
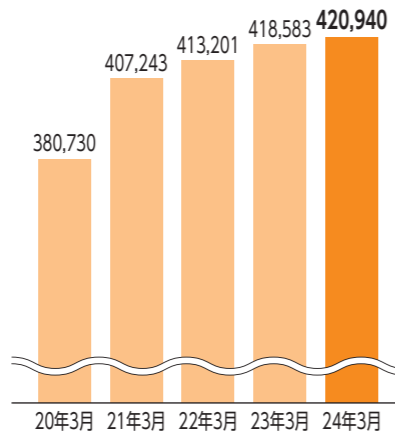
2023年度業績ハイライト

●預金積金残高

4,209億円

前期末比+23億円

預金積金残高は、個人のお客さまからの預金を中心に順調に推移し、前期末比23億56百万円増加しました。

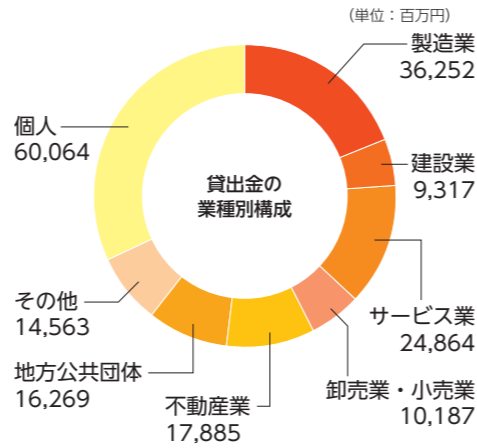
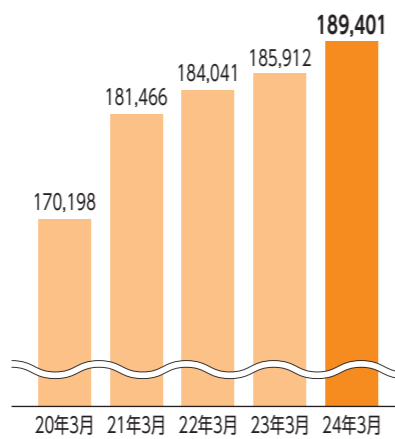


●貸出金残高

1,894億円

前期末比+34億円

貸出金残高は、地域のお客さまの資金ニーズに積極的に応えし、前期末比34億88百万円増加しました。

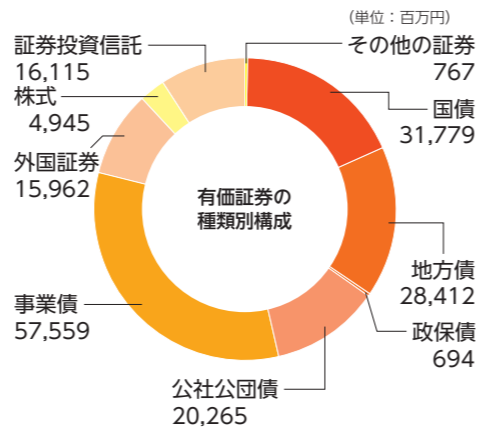
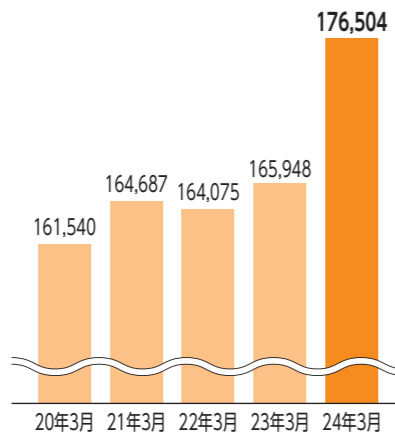


●有価証券残高

1,765億円

前期末比+105億円

有価証券運用は、流動性が確保された商品、リスクの所在が明確な商品を中心とした運用を心掛けています。

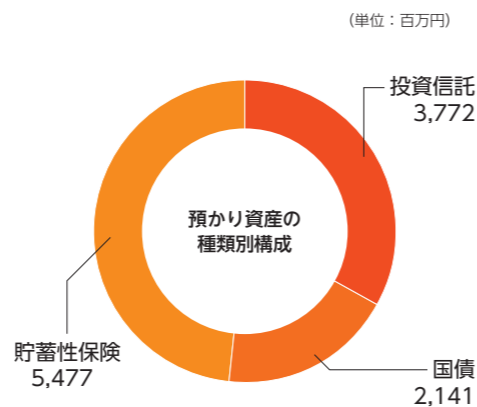
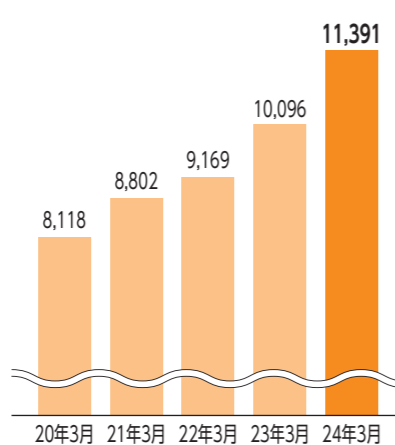


●預かり資産残高

113億円

前期末比+12億円

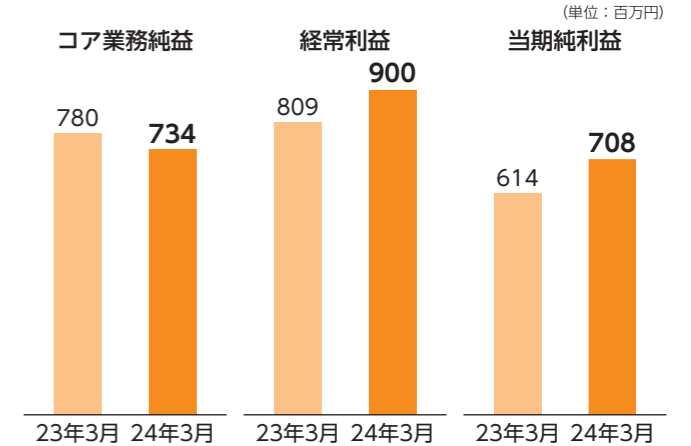
お客さまの保有資産の状況や運用方針に合わせた、商品やサービスの提案を行っております。



●当期純利益

7億円 前期末比+0.9億円

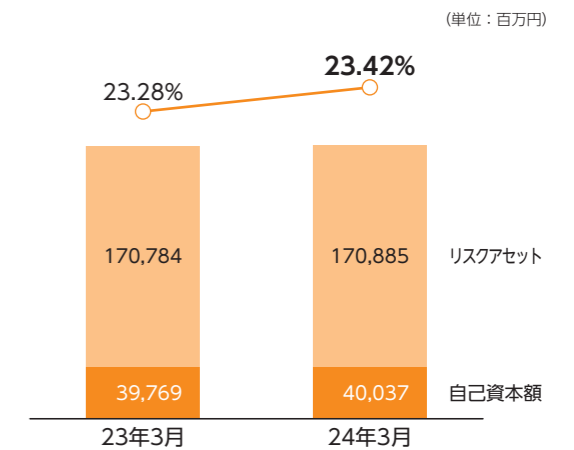
金融機関の主業務活動による利益を示すコア業務純益は、有価証券利息配当金の減少などにより、前期末比45百万円減少しました。また、経常利益は信用コストの戻入益や株式等売却益の増加などにより、前期末比90百万円増加、当期純利益も93百万円増加しました。今後も、地域のお客さまのニーズにお応えできる業務展開と安定的な収益確保により、「安心と信頼」のさらなる向上に努めてまいります。



●自己資本比率

23.42% 前期末比+0.14ポイント

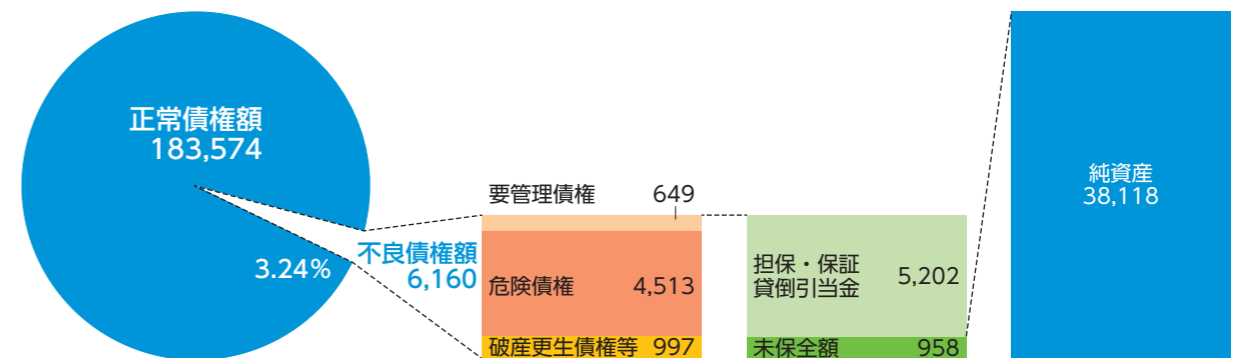
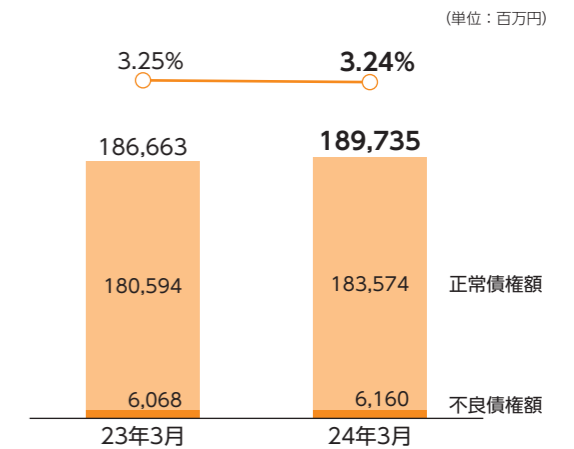
自己資本比率は、金融機関の健全性を示す指標として用いられ、その水準が高いほど、経営がより健全であることを示しています。2024年3月期における自己資本比率は23.42%であり、金融庁告示に定められている国内基準4%を大幅に上回っています。



●不良債権比率

3.24% 前期末比△0.01ポイント

金融再生法に基づく不良債権額は、前期末比91百万円増加の61億60百万円、不良債権比率は0.01ポイント低下し3.24%となりました。不良債権のうち84.4%は担保、保証等により保全されており、保全されていない部分は9億58百万円となりますが、当金庫は381億円の純資産を備えており、影響は極めて少ないものとなっています。



諏訪信用金庫 SDGs宣言

当金庫は国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs」に賛同し、2019年6月21日にSDGs宣言を行いました。経営理念「諏訪信用金庫は、みなさまと共に、豊かな地域社会の実現をめざします。」のもと、地域金融機関として事業活動を通じ、「①地域社会 ②地域環境 ③地域経済」の3つの側面から持続可能な地域の実現に貢献していきます。



SDGs「持続可能な開発目標」とは

SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴールと169のターゲットから構成されています。

SDGsへの取り組み



SDGs定期預金「みんなのえがお」

SDGsの取り組みの一環として、子ども食堂や子どもの学習支援など、地域の子どもたちを支援する組織が集まった「信州こどもカフェ」に、50万円を寄付しました。

当金庫のSDGsへの取り組みに賛同していただいたお客さまを対象に発売した特別金利のSDGs定期預金「みんなのえがお」に伴う寄付で、SDGs定期預金の実施は今回で5回目となりました。今後もSDGsの実現に貢献する取り組みを行っていきます。



すわしんSDGs宣言サポートサービス

事業者さまのSDGsの取り組みをサポートするために、「すわしんSDGs宣言サポートサービス」を提供しています。同サービスでは、事業者さまのSDGs宣言策定のサポートを通じて、SDGsの達成に向けた取組状況の見える化を行い、明らかになった課題に対するソリューションを提供しています。

SDGs・脱炭素・ESGサポートローン

SDGs、脱炭素経営やESGに取り組むお客さまの資金ニーズに応えるため、「諏訪しんきん SDGs・脱炭素・ESGサポートローン」を取り扱っています。再生可能エネルギーや省エネルギー設備資金、SDGsの取り組みに関わる運転・設備資金にご利用いただけます。

当金庫では、長野県が発行したグリーンボンドをはじめ、SDGs債に投資を行っています。今後もSDGs債への投資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2021年度	2022年度	2023年度	累計
27億円	26億円	40億円	106億円

SDGs債への投資

SDGs債とは、SDGsの目標達成に貢献するための事業の資金調達のために発行される債券です。SDGs債にはグリーンボンドやソーシャルボンド、サステナビリティボンドなどがあり、グリーンボンドは環境改善効果が期待できるプロジェクト、ソーシャルボンドは社会課題に貢献するプロジェクト、サステナビリティボンドは環境・社会課題の両方のプロジェクトの資金調達のために発行されます。

地域環境への取り組み



もりの里親事業の実施

2014年5月に北真志野生産森林組合と「森林の里親契約」を締結以降、森林保全活動「森林の里親事業」を実施しています。毎年春と秋に役職員やその家族が参加し、約8ヘクタールの山の整備に取り組んでいます。

2023年度で10年目の活動となり、春の作業では御柱



祭の用材となるモミの苗木の植樹、秋の作業では、繁茂している雑木を伐採し、まきを束ねる作業を実施しました。緑多き恵まれた環境に感謝し、これからも継続して実施していきます。



諏訪地域6市町村と脱炭素社会実現に向けた連携協定

諏訪地域6市町村と脱炭素社会の実現に向けた連携協定を締結しました。この連携では、事業者や家庭の活動サポート、市町村と事業者の連携促進、グリーン成長分野への事業展開を行う事業者へのサポートなど、脱炭素社会の実現につながる様々な取り組みを後押しします。



地域ボランティア活動への参加

地域環境への取り組みの一環として、ネーミングライツを取得した「しんきん諏訪湖スタジアム」の美化活動をはじめ、長野県諏訪建設事務所が主催する諏訪湖美化活動「諏訪湖アダプトプログラム」への参加など、地域ボランティア活動を継続して行っています。



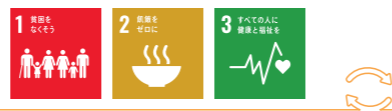
諏訪信用金庫 環境方針

当金庫は地域環境・地球環境の保全に配慮した事業活動を通じて、地域金融機関としての社会的責任、公共的使命を果たしていきます。

- 1 適用可能な法的要求事項および当金庫の環境側面に関して、当金庫が同意するその他の要求事項を順守します。
- 2 環境管理システムを構築し、全要員参加により継続的改善への取り組みと、環境汚染の未然防止と環境保全に努めます。
- 3 この方針に沿って環境目的および目標を設定し、かつ見直します。
- 4 当金庫は次のような課題を掲げ、全要員一丸となって取り組みます。

- ①省エネルギー・省資源の推進 ②資源のリサイクル化 ③環境配慮型の金融商品、サービス、情報の提供 ④地域美化運動への参加

この環境方針は、全要員に周知徹底し、また当金庫外へも公表します。



地域社会への取組み

信濃グランセローズ公式戦に子どもたちを招待

しんきん諏訪湖スタジアムで行われる信濃グランセローズ公式戦に諏訪地方の小学生を招待する取組みとして、諏訪広域連合の金子ゆかり連合長に無料入場引換券を1万枚贈呈しました。今後も地域のスポーツ振興や、スポーツを通じた地域の子どもの健やかな成長に貢献していきます。



投資ゲームを通して金融教育

次世代を担う子どもたちの金融リテラシー向上のために、諏訪清陵高校附属中学校で投資ゲームを通じた金融教育を行いました。今回はしんきんライフプランセンターの職員が考案した投資ゲームを行いながら、生徒が投資信託の仕組みを実感できる授業を行いました。



4年ぶりのシルキーコンサート

コロナ禍で4年ぶりとなったシルキーコンサート「美川憲一&コロケ スペシャルジョイントコンサート」を実施しました。これまでは当金庫で年金をお受け取りのお客さまを対象としていましたが、今回はできるだけ多くの方に楽しんでいただくために、お取引のあるお客さまを対象に2日間4公演を行い、多くのお客さまにご来場いただきました。



親元を離れた子どもたちを支援

岡谷市川岸の児童養護施設つづしが丘学園に、支援金10万円とお米60kgを寄付しました。また、今年はライフプランセンターの職員が卒園を控えた児童たちに「おかねのはなし」をしました。当金庫は創立80周年記念を契機に毎年、親元を離れざるをえなくなった子どもたちに継続的な支援をしています。



しんきんカップ少年サッカー大会開催（独立行政法人日本スポーツ振興センターとのタイアップ事業）

地域のスポーツ振興や、スポーツを通じて次世代を担う子どもたちを積極的に支援するために「しんきんカップ少年サッカー大会」を開催しました。今年で10回目の開催となり、諏訪地域の少年サッカーチーム10チーム約130名の子どもたちが参加しました。10回目の記念大会として、当金庫のロゴ入りの公式サッカーボールのほかに、テントやベンチ、マーカーコーンなど、スポーツ用品を各チームに贈呈しました。



6月15日は「信用金庫の日」

「信用金庫法」が1951年6月15日に公布・施行されたことにちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定め、毎年全国の信用金庫で様々な地域貢献活動が行われています。当金庫では、職員が献血と募金活動を行いました。



諏訪しんきんサービスによる婚活事業

当金庫のグループ会社の諏訪しんきんサービスが、地域貢献事業として2022年度から婚活事業を行っています。2023年度は第2弾「ヨガDE婚活」、第3弾「蕎麦打ちDE婚活」を実施しました。同じ体験をしながら、アットホームな雰囲気の中で知り合う場を提供しています。また、この婚活事業で知り合った1組がご結婚されました。



お客さまに安心してご利用いただくために

当金庫では、特殊詐欺などからお客さまの大切なご預金を守るための取組みをしています。

特殊詐欺防止の啓発活動

岡谷、諏訪、茅野の3警察署と連携し、12月の年金支給日に各署管内の商業施設などで、特殊詐欺防止活動を行いました。特殊詐欺防止のチラシやメッセージ付きのメモ帳を配布しながら被害防止を呼びかけました。



詐欺防止への貢献

詐欺被害を未然に防止したとして、諏訪警察署から下諏訪支店と飯島支店に感謝状が授与されました。



地域経済への取組み



SUWAリレバンサミット2023

諏訪地域の将来を展望する地域創生事業として、2020年から毎年開催しているシンポジウムです。今年度は題して「SUWAリレバンサミット 一観光×金融＝豊かな地域社会の実現に向けて」を開催しました。基調講演とパネルディスカッションで宿泊業の経営と諏訪の観光の未来を考え、地域の観光業と当金庫が一丸となって地域の活力を生む共通認識を高めました。



岡谷シルクPR

岡谷市、岡谷商工会議所と共同で岡谷シルクをPRするロビー展を神奈川県のかながわ信用金庫で行いました。店舗ロビーに、岡谷とシルクの歴史のパネル、蚕の繭、生糸やシルク製品などを展示し、シルクのスカーフをかながわ信用金庫の女性職員に着用していただき、岡谷シルクをPRしました。今後も岡谷シルクのブランド創出に取組んでいきます。



諏訪エリア商談・販売会

諏訪地域の特産品の販路拡大などをサポートするために、「諏訪エリア商談・販売会」を開催しました。中央道・長野道を中心としたサービスエリアやパーキングエリアのバイヤーに対して特色のある商品をPRしました。また、一般のお客さま向けにも諏訪地域をはじめ、岐阜県や伊豆大島などの出展者による試飲や試食、商品の販売を行いました。



三条信用金庫との連携協定

三条信用金庫と「包括的業務連携・協力に関する協定」を締結しました。ものづくりの産業構造が似ている金属加工の集積する燕三条地域と精密機械製造の集積する諏訪地域の両地域で培われたそれぞれの知見やノウハウを共有することで、地域振興や産業発展に貢献していきます。



若手経営者・後継経営者の育成

若手経営者・後継経営者を中心に組織した「ユースクラブ」「ビジネスクラブ」では、経営者や会員企業社員を対象とした各種研修会や講演会を開催しています。

2023年度は若手社員対象の「若手社員向けセミナー」、次期経営者や新任後継者対象の「経営マネジメントセミナー」を実施しました。また、フリーアナウンサーの福澤朗さんを講師にお招きした講演会や元プロ野球選手の藤原公康さん、旭造株式会社代表の桜井博志さん、元サッカー日本代表監督の岡田武史さんのオンラインセミナーを開催しました。



職員への取組み



健康経営優良法人認定

経済産業省と日本健康会議が提唱する「健康経営優良法人2024」の大規模法人部門で認定されました。職員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する取組みが評価されました。今後も健康経営の推進を通じて、健康の維持や増進に取組むことで活力ある組織づくりと地域社会の発展に貢献していきます。



公認サークル始動

職員同士の交流を活発化し、よりよい職場環境や組織風土の醸成を目指した公認サークルが誕生し、活動を開始しました。

スノーボードやキャンプなどのサークルでは、所属部署や年代を超えた共通の趣味や活動で、職員同士の交流親睦を深めています。



【スノーボード、スキーサークル】



【キャンプサークル】

次世代育成支援行動計画(2024年4月1日～2027年3月31日)

すべての職員がその能力を十分に発揮し、安心して働き続けることができる雇用環境の整備を図るとともに、次世代育成支援について、地域に貢献する金融機関となるため、次のような行動計画を策定しています。

- 仕事と家庭の両立のために、一人当たりの総労働時間の削減を図ります。
- 男性の育児休業取得を推進します。

女性活躍推進にかかる行動計画(2024年4月1日～2027年3月31日)

女性が従業し、活躍できる雇用環境の整備を行うため、次のような行動計画を策定しています。

- 女性職員が多様な職種で活躍してもらうために、計画期間中に3名以上を渉外担当に登用します。
- 女性の役席の割合を現在27%のところ30%に増やします。

子育てサポート企業

当金庫は次世代育成支援行動計画に取組み、その実績により長野労働局から「子育てサポート企業」として「くるみん」が認定されました。今後も引き続き職員が働きやすい職場環境づくりに取組み、地域社会の発展に貢献していきます。



職場環境改善の取組み

長野県は職場環境改善事業の一環として、誰もがいきいきと働くことができる職場づくりに先進的に取組み、実践する企業を「職場いきいきアドバンスカンパニー」に認定しています。当金庫は「ワークライフバランスコース」、「ネクストジェネレーションコース」の2コースで認定されています。

